

1歳児の子どもの育ち

1歳児の姿

歩行の確立

歩行が安定してきて行動範囲が広くなり、「走る」「よじ登る」「方向転換する」など、様々な運動をしようとする。

指先の機能の発達

歩くことが安定すると、自由に手を使えるようになり、その機能も発達する。様々なものを手に取り、指先を使いながら「つまむ」「拾う」「引っ張る」など、ものの出し入れや操作を何度も繰り返す。

1歳児動きと遊具

低い滑り台

発達が見込まれる動作

- ① つかもうと手を伸ばす
- ② 寝転びながら滑る
- ③ 手すりにつかまり、階段を昇る



乗用玩具

発達が見込まれる動作

- ① 押して走らせる
- ② 自分でまたぎ乗る
- ③ 両足で蹴って、前に進む



ウレタン積木

発達が見込まれる動作

- ① 持って歩く
- ② 2、3個を重ねる
- ③ 中腰になり、積木を押す



遊具と子どもの姿

01

低い滑り台

滑る



ドキドキ、ワクワク、怖さや気持ち良さなど、子どもの感性を共有してみよう。

階段を昇る



子どもによっては、「一段とぼし」も安全に昇ることができる。見守りながら子どもの意欲を尊重しよう。

02

乗用玩具

押して走らせる



同じ玩具でも子どもによって楽しみ方が異なる。一人ひとりの子どもの楽しみ方を理解しよう。

両足で蹴る



「どのように足を動かせば前に進むのか」。子ども自身の試行錯誤を見守ることが大切。

03

ウレタン積木

持って歩く



遊びの中で子どもにとっての目的や必要感があることを大切にしよう。

重ねて積み上げる・倒す崩す



一人ひとり重ねる。「重ね方は友達と一緒にかな?」。重ね方にもその子らしさがある。